

県図なう。

令和3年8月15日 発行
第125号 (毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。 鹿児島県立図書館

ホットニュース 語り継ごう！ 岐阜との絆！

「岐阜(姉妹県盟約 50年)とのつながり～島津義弘と薩摩藩士～」をテーマに、令和3年度の第1回県立図書館貴重資料紹介展を開催します。今回の展示内容の目玉は「島津義弘」関連資料と薩摩義士関連資料です。また、併せて志学館大学の原口泉教授を講師に特別講演会も実施します。

【貴重資料紹介展示】

期間: 令和3年8月18日(水)～10月6日(水) 会場: 県立図書館1階正面玄関ロビー

【特別講演会】

日時: 令和3年9月4日13:30～15:25(受付13:00～) 会場: 県立図書館1階大研修室

申込方法: ①申込用紙をカウンターに提出, FAX送信, 又は電話による申込み

申込期間: 令和3年8月17日(火)9時から定員に達するまで。

定員: 40人+別室視聴20人

図書館で探そう、調べよう!

『紫鉦(しこう)』『雄黄(おおう)』が
どんなものかを知りたい。

聞いたことのない言葉だったので、聞き取りを続けたところ、以下の2つのことが分かりました。

- * 自宅にある、『正倉院宝物 北倉』という本に、書いてあったもの。
- * 写真はありますが、説明がない。百科事典を調べたけれど、載っていなかった。

これらの2点を基に調べを進めていきました。正倉院の宝物の一部だということは分かりましたが、分野の見当もつきません。しかし、これが作品集のような本であれば、すぐに分かるかもしれない、と思いました。幸い同じ本『正倉院宝物2 北倉2』(正倉院事務所編 毎日新聞社 1996年)が所蔵されていたので、確認すると、「紫鉦」は木の枝に土の塊を巻き付けたようなもので、「雄黄」は黄色い卵形のものでした。しかし、確かに説明がありません。

次に、目次を確認すると<解説>が掲載されていることが分かりました。ここを調べると、「紫鉦」は「南アジアに産するラックカイガラムシの雌虫が寄生した樹枝に分泌して出来たヤニ様の樹脂で～(後略)」とあり、「雄黄」は「雄黄の名は二硫化砒素系の原石である鶏冠石のことで、古来神仙薬の一つと信じられ、用いられていたようであるが、毒性は強い。」とありました。質問された方は「同じ本に載っているんですね。分かってよかったです。」といわれて、回答を終えました。

このように、美術系の作品集などは後方に<作品の解説>が、古書をまとめた本などは前方に<解説>という解説が、また本によっては単語の掲載ページが分かる<索引>が掲載されているものがあります。本の特徴が分かると、さらに理解を深めることができるので、是非参考してみてください。

《一般図書》8月15日(木) **新着図書案内** 《児童図書》8月22日(日)

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| ○『終活なんか、するもんか』 みの もんた/著 朝日出版社 | ○『ことりのぴーと』 ディック・ブルーナ/ぶん・え 福音館書店 |
| ○『ラストは初めから決まっていた』 小手鞠 るい/著 ポプラ社 | ○『しんぱいせんせい』 北川 千ハル/作 大野 八生/絵 佼成出版社 |
| ○『室町は今日もハードボイルド』 清水 克行/著 新潮社 | ○『おれは女の子だ』 本田 久作/作 市居 みか/絵 ポプラ社 |
| ○『ハラスメントの正しい知識と対応』 梅澤 康二/著 ビジネス教育出版社 | ○『カイトとルソンの海』 土屋 千鶴/作 小学館 |
| ○『監視資本主義』 ショシャナ・ズボフ/著 東洋経済新報社 | ○『相手の身になる練習』 鎌田 實/著 小学館 |

催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示
9月1日(水)～9月30日(木)
「『365日 毎日本が好き!』展」
「365」「一日…」等がタイトルに付いている本を展示します。
毎日本に親しめるヒントが見つけれられるかもしれません。
- 児童文化室ミニ展示
8月24日(火)～9月22日(水)
「『あなたの心をつつんでくれる』展」
もうすぐ新学期が始まります。久しぶりの学校にどきどきする人もいないのでしょうか?
そんな人を含め、心の中にある不安を吹き飛ばしてくれる本を展示します。

図書館職員のつぶやき

図書館での複写サービス(著作権法第31条)をご存じですか。

当館には、所蔵している資料を有料で複写できるサービスがあります。原則として利用者の申込みが必要で、調べものに利用する目的であれば、一人につき1部に限り利用者自身にコピー機で複写をしていただいています。日々いろいろな方が複写サービスを利用していますが、中には、自分が子供の頃に新聞に投稿したものを複写に来る方もいらっしゃいます。孫に見せるためと話してください、なんだか微笑ましく思いました。

また、当館にはデジタル化新聞というものがあります。情報提供サービスの一環として当館で所蔵している過去の新聞の一部をデジタル化したもので、申込みをすることで利用できます。特定の日には新聞を探すにはとても便利です。ぜひ一度利用してみてください。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、田島征彦・吉橋通夫/作の『こたろう』(復刊ドットコム)です。

私が小さい頃、母が毎晩絵本を読んでくれました。声色を変えたり節を付けたりして、情景たっぷりに読んでくれたので、想像力をかき立てられ、寝る前のとても楽しいひとときでした。中でも、この『こたろう』は、テンポのよい関西弁と奇想天外なストーリー、独特なイラストで大好きな絵本の一つでした。

母の声色と節もよく覚えているので、息子にも沢山読んであげたいと思っています。そして、本を読む楽しさや、本から学ぶ広い世界を知ってほしいと願っています。



図書館クイズ

にじいろのほん『さんねん峠』李錦玉/作
林氏宜/絵(岩崎書店)からのクイズです。

おじいさんはなににつまづいてころんじゃった?

- ①いし ②くさ ③あな

ヒント
とってもかたいね

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、9月14日(火)までに投入してください。
正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「②さかなをつる」でした。
たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
8月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
9月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15★	16	17	18◆

- 開館時間は、火曜日～土曜日:9時～21時
[8月31日(火)までは閉館時刻は20時]
- ※ 児童文化室は19時まで
日曜日・祝日(自齋):9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(8月31日, 9月15日[予定])
- は、児童文化室新着図書の日(8月22日)